

農林系未利用バイオマスのポテンシャル

バイオマス活用推進基本計画（平成28年9月閣議決定）の対象バイオマス

バイオマスの種類	平成27年発生量*1	平成27年利用量*2 (利用率*3)	平成37年利用量目標*2 (利用率目標*3)	主な用途
林地残材	400 万炭素 ^{トン}	36 万炭素 ^{トン} (9%)	120 万炭素 ^{トン} (30%)	エネルギー利用、 バイオ炭等
農作物非食用部 (稲わら、籾殻等)	448 万炭素 ^{トン}	394 万炭素 ^{トン} (88%)	403 万炭素 ^{トン} (90%)	飼肥料、敷料、 燃料、バイオ炭等

上記以外のバイオマス

バイオマスの種類	推定年間発生量	平成27年利用量	主な用途
果樹剪定枝	23*4 万炭素 ^{トン}	—	堆肥、チップ、 バイオ炭等
竹	28*5 万炭素 ^{トン}	1*6 万炭素 ^{トン}	造園・土木資材、 バイオ炭等

*1 「バイオマス活用推進基本計画(以下「基本計画」という)」の「年間発生量」より炭素量に換算し算出した数値。

*2 「発生量」と基本計画の「利用率」、「利用率目標」から、「利用量」と「利用量目標」を算出。

*3 基本計画から引用。農作物非食用部の数値は、すき込みを含む数値。

*4 果樹園面積 × 単位面積当たり剪定枝重量 × 炭素含有率 = 22万ha(H28) × 4.1^{トン}/ha × 0.25 ≒ 23万炭素^{トン}(農研機構調べ)

*5 竹林面積 × 単位面積当たり平均蓄積量 ÷ 伐採周期(抜き伐り) × 炭素含有率 = 16万ha(H24) × 50^{トン}/ha ÷ 5年 × 0.175 = 28万炭素^{トン}(農研機構調べ)

*6 「主要な特用林産物の生産動向(平成28年9月林野庁)」の「竹材生産量」より算出。